

松崎悠希について

まず、私は松崎悠希という男性とはあったこともありません。彼を無慈悲にオーディションで落としたことがあるらしいと、とある人物から聞きましたが、覚えていません。

私は2022年7月19日に、松崎悠希を訴えました。松崎はワークショップをきっかけにした性加害に関する主張を行ったにも関わらず裁判でその立証に失敗しました。

そして、私は勝訴しました。

私は彼のツイートのうち、私がワークショップに来た者に性行為を迫った、という趣旨のツイートを事実無根として訴えました。



Yuki Matsuzaki 松崎...

フォロー

@Yuki_Mats

俺の知り合いは園子温とその取り巻きの「ワークショップ」に通い始めて「事務所(マネージャー)を信用するな」と教えられ、そして「一人」になったところで身体を要求された。

👉 これを読んで「まさに自分の事だ」と思った？それくらいこれがコイツの「常套手段」だったわけだ。被害者は何十人もいる。

t.co/JkzqNq7FHI

削除されたアカウントによるポストです。 [詳細はこちら](#)

午後8:50 · 2022年3月27日

3 463 620 54



Yuki Matsuzaki... · 2022年3月28日

> 「泊まらせてくれたら、君のために明日の朝、ホットケーキを作ってあげる」



これが #園子温 が女優を口説く時の常套句らしいですなあ。思い当たる方、もの凄くいるのでは？

x.com



彼は他にも色々ツイートをしているのですが、その一つ一つを訴えるのは煩雑ですので、彼が最初に私に言及したツイートを対象にしました。

次に訴訟の過程についてお話しします。

松崎は私がワークショップに来た女性に性行為を迫り、その被害者は数十人にのぼると主張します。しかし、私はこれを事実無根だとし、松崎に対して主張の撤回と慰謝料を求めました。今回の裁判では「私がワークショップに来た女性に性行為を迫り、その被害者は数十人にのぼる」というのが裁判の争点です。民事裁判ではこの争点に向けて当事者が立証活動をしていくことになります。

これについて松崎は、訴訟の最初から最後まで一貫して、原告園子温のツイートの読み方について争いました。彼は、このツイートは園子温個人を指すものではなく、日本におけるワークショップの在り方について警鐘を鳴らす趣旨で記載したと主張しました。

つまり、原告園子温のツイートの読み方は失当であり、名誉毀損に当たらないのだと主張するのです。

私はこれを聞き、混乱しました。ツイートには私の名前と性行為を迫った行為を記載し、あまつさえ「コイツ」と私を指していながら、それはあくまで例え話だったというのです。世間の皆様は、彼の主張に賛同するのでしょうか。おそらくされないと思います。

さて、ここで一つの疑問が生じます。もし松崎の知り合いが被害に遭ったというのであれば、なぜその者を裁判で証言させなかったのか、ということです。ワークショップの被害者が何十人もいるのなら、誰かしらは証言するはずです。

しかし、彼は第一回の準備書面でそれを主張せず、ツイートの解釈について主張し、既にアカウントが消された者のツイートを提示しました。知り合いが被害に遭ったのに、知り合いではない消されたアカウントのツイートを引き合いに出すのはなぜでしょうか。被害者が居なかったからと考えるのが自然です。

ここで、消えてなくなったツイートをご提示します。

添付資料（エリコのツイート）



繰り返し強調しますが、このエリコのツイートは、アカウントごと、消えてなくなりました。どうして消したのでしょうか。千葉と同じように、嘘だったからです。

そしてさらに、我々は情報源を Twitter に求めることの危険性について、今一度考えるべきではないでしょうか。証拠に裏付けされず、信ぴょう性を担保できない SNS の情報を、証拠として提出して良いのでしょうか。

あなたは、「お前は犯罪者、ソースは Twitter」と言われて納得できるでしょうか。相手の知性を疑いませんか。

その後、彼は頑なに争点について証拠を出しませんでした。

訴訟が進み、ようやく松崎が証拠として出したのは彼の友人の証言ではなく、松崎の知人でもない人の匿名のツイートと過去の雑誌のインタビューです。それも、全てワークショップとは関係のない自称被害者たちの証言の数々です。

自分の知り合いが被害に遭ったというのに、証拠提出してきたのは全く見知らぬ方のツイートと、何十年も前の映画雑誌の切り抜き。ツイートについては、発信者が特定されていないので、松崎のなりすましの可能性がある。雑誌はエンターテインメント目的に、誇張したり、嘘が殆どです。映画雑誌は、真実を探求する報道ではなく、ファンタジーで人を楽しませる雑誌です。彼はこの後も、映画雑誌を次々と証拠提出してきます。

また、証拠としてツイッターのツイートを出すことも不適切です。インターネット掲示板の匿名の書き込みを、真実だと主張するのは陰謀論です。新聞記者は、ツイッターのツイート「だけ」を見て記事を書きますか？書きませんよね？それは不正確だからです。不正確な情報を訴訟において証拠提出すること自体が間違いです。

次に、彼が一人も訴訟に証人を呼ばなかったのは不自然です。もし私の被害を見聞きした人物がいれば、法廷で証言させるべきでした。なぜなら法廷では裁判官と弁護士からの質問が行われるからです。このように当事者が質問して、証言に矛盾がないことを確かめるプロセスがなければ、証言は幾らでも捏造できてしまいます。

しかし、彼は全ての証言を供述書にして提出してきました。これでは真実かどうか確かめるすべがありません。松崎は自分自身の証言も供述書にして提出してきました。また、少なくとも松崎本人は当事者ですから、出廷しても何らの不都合もないはずですが。なぜ彼は出廷して証言しなかったのでしょうか。それは、裁判官から質問され、自分の主張の矛盾が露呈されるのを嫌った以外に考えられません。

刑事裁判ではこのような証言を書面にして証拠として認めるには、非常に厳しいハードルがあります。今回のケースだと、まず認められる余地はありません。一方で民事裁判ではファジーな立証も許されてしまいます。これを逆手に取り、松崎は次々に新しい無関係の供述を提出してきました。

更に、松崎の立証活動が不適切であったことも指摘したいと思います。結局松崎が供述書にして提出したのは、ワークショップとは関係のない人々の証言でした。**裁判の争点はワークショップで知り合った女性に迫ったかどうかですから、ワークショップと関係のない証拠については争う必要がありません。このため、弁護士はこれに対して殆ど反証活動をしませんでした。その結果、不本意な認定がされてしまったことについては大きな不満が残ります。**

彼がワークショップと関係のない証言を次々に出してきたのは、被害者が最初から存在しなかったからに他なりません。しかし、関係のない証言を出してきた理由は何でしょうか。それは、園子温の人間性を徹底的に下げようと思ったからでしょう。それに、証言を増やせば相手は反証の対応に追われ、争点以外の反証を諦めるだろうことも計算に合ったと思います。**ようは民事訴訟を利用して、デマを拡散できれば良く、最初から勝つ気はなかったのでしょう。**

その証拠に、今も SNS では、ワークショップとは関係のない事実について私をあげつらう人々が目立ちます。全くナンセンスです。私は、争点になっていなかったから反証活動を行わなかっただけです。

ですが忘れてはならないのは、彼はワークショップの被害者について証言を提出できなかったことです。これこそが、松崎自身の信ぴょう性に疑問を抱かせる事実です。

さらに、彼は Twitter 上で度々、自分の裁判は満員で、傍聴席に入りきれないほど人が集まっていると言いました。しかし当時、裁判は全てリモートで行われています。また、松崎はツイッターで度々、傍聴席が満員になるので期日が延期されたと言って、この訴訟がいかに注目されているかを強調しましたが、これも完全に嘘です。

リモート裁判で傍聴席なんて存在しません。

松崎の代理人弁護士から、証拠が揃わないので延期させてくれとの申し出があって延期しました。これは訴訟記録に残っています。が、松崎は自身の X(Twitter)にて傍聴席が足りなくなるからと弁護士に言われたと書きました。

この証拠が揃わない理由は、証言を聞く相手が死んでしまったから、と主張します。おそらく千葉のことでしょう。しかし、千葉はワークショップとは何の関係もないことは、彼女の嘘の証言からも明らかです。つまり、全然関係のない証拠を始めから提出するつもりだったのです。



スレッド



Yuki Matsuzaki 松崎悠希 
@Yuki_Mats



【※重要】つい先ほど裁判所より弁護士を通し、明日の裁判(👉)が延期になったと連絡がありました。つまり明日の「第一回口頭弁論」は執り行われません。第1回目の期日は改めての調整とのこと。弁護士の見解ではおそらく傍聴席が足りなくなるからではないかとのこと。

twitter.com/Yuki_Mats/stat...



Yuki Matsuzaki 松崎悠希  @Yuki... · 18時間

【園子温氏の民事訴訟について(その4)】
園氏による民事訴訟(第192265号)の第一回口頭弁論は9月27日(火)13:20から東京地方裁判所526号法廷で執り行われます。私も出廷します。その際、記者による取材も受け付けますので、本件につい...

[このスレッドを表示](#)

 **Yuki Matsuzaki ...** @Yuki... · 3時間 ...
裁判って「立ち見席」とかってないのね・・・

 **Yuki Matsuzaki ...** @Yuki... · 4時間 ...
【※重要】つい先ほど裁判所より弁護士を通し、明日の裁判(👉)が延期になったと連絡がありました。つまり明日の「第一回口頭弁論」は執り行われません。第1回目の期日は改めての調整とのことです。弁護士の見解ではおそらく傍聴席が足りなくなるからではないかとのことです。

 **Yuki Matsuzaki ...** @Yuki... · 22時間
【園子温氏の民事訴訟について(その4)】
園氏による民事訴訟(第192265号)の第一回口頭弁論は9月27日(火)13:20から東京地方裁判所526号法廷で執り行われます。私も出廷します。その際、記者による取材も受け付けますので、本件について質問等ございましたら27日に裁判所にいらして頂ければと思います。

[このスレッドを表示](#)

🗨️ 33 📄 48 📌

[このスレッドを表示](#)

 **Yuki Matsuzaki ...** @Yuki... · 8時間 ...
(相手の台詞を聞くときに)で(瞬き)をなくすことによって、(動揺しているように見えなくなる)→(ドラマチックなシーン)の演技になる。

リモート裁判で傍聴席なんて存在しません。

もう一度強調させてください。彼は、私がワークショップで性加害を与えたことについて、裁判で一切証拠を提出しませんでした。

この事実が、私の加害をすべて否定するものです。

ちなみに、私の弁護士が、松崎氏の事務所の社長に連絡をとったところ、「松崎氏は、園子温ではなく、彼の取り巻きが悪さをしたんだと言っていた」と聞いたようです。それも言い訳です。松崎氏の知り合いに悪さをした園子温の取り巻きなどいません。だったらそのように裁判で言えばよかったのに。

彼はこのツイートの証拠、言い訳を、SNSの英語版の動画で『とある芸能事務所のマネージャーからの告発を聞いて立ち上がった』と言っています。

そのマネージャーは私の事務所の女優は、園子温のワークショップに参加しておかしくなったと言っています。松崎氏はこの動画でその告発を聞いて奮い立ったと言っています。

乙第25号証

被害申告者等事情聴取書	
No.	①
氏名	[Redacted]
2022 (令和4) 年の3月27日に、園監督が関わっているワークショップの問題点を衝いた松崎さんのツイートを見ました。私も同感でしたので、私の経験を伝えなければならぬと思い立ち、松崎さんに「女優甲も、アクターズヴィジョンの園組の被害者です。マネージャー来ないでって言われて、2本出て、スタッフさんに女にされちゃって、そのまま洗脳されて、事務所を訴える形で辞めました。もちろん事務所が和解ですが、勝ちましたけど。本当にあの手のワークショップはやめて欲しいです。」という内容のダイレクトメッセージを出しました。	
松崎さんに伝えた私の経験を、少し詳しくお話します。	

しかも松崎氏が言う『被害者』当人女優のAさん（その芸能事務所のマネージャーの担当だった本人）より、その件は、私が事務所を個人的に辞めただけで、園子温となんら関係ない、マネージャーの妄想だと言う念書を園子温宛てに送っていただきました。

こちらがそれです。

↓

私 [REDACTED] は令和三年二月二十八日付で [REDACTED] との
専属契約を終了いたしました。その理由は個人的なもので、園子温氏
のワークショップに参加したことが関係しているわけではなく、ましてや
園子温氏個人や、ワークショップスタッフに原因があるわけでも
全くありません。

[REDACTED] 令和五年七月十四日

つまりでっち上げです。

私はとある会社と映画を作ることになり、応募してきた生徒とオーディションを兼ねたレッスンをしました。映画が完成して、その後、その会社と正式のワークショップしましたが、三日間しかしてません。三日間、生徒の講習をしました。私はその会社の先生ではありません。ゲストとして、招かれ、三日間、講習しただけです。松崎氏の知り合いがたった三日間のワークショップに「通い始めた」と大袈裟に言うのですが、女生徒の数もほんの少数ですから、在籍していた生徒から彼の知り合いを探るのは簡単でした。しかし、松崎氏が誰のことかを決して言わないので、民事裁判は三年間も続きました。その間、松崎氏は一度も、このツイートの真実を一片たりとも証明せずに、ノラリクラーと三年間も言い逃れをしてきました。裁判では、回ごとに彼は言い訳がどんどん変幻自在、毎回、違う語り口、違う方向で反論してきました。

松崎氏は『園子温による性加害と読むのは、読み方が間違っている』『ワークショップには限定していない。そこで行われたとも書いてない。あくまでも一般論だ、園による加害の暴露も行なっていない』園であるとの摘示（てきし）も答弁書で否定した』

「ワークショップ」というのはワークショップに限らない、だからワークショップじゃなく、「ワークショップ」と鍵かっこにしたんだとか、園子温というのは比喻だったとか、園子温は他にもこんなに悪さしてるから（裁判中に彼は SNS で園子温の悪さを募集していました）だからきっと、ワークショップでもやっていると言いました。

これで松崎という人間が、いかに信用できない人間であるかがお分かりいただけだと思います。



地裁でひっそり/開示請求 @chisa... · 2022/12/13 ...

(初出) 松崎氏×園子温。松崎氏は11月15日付答弁書提出。ツイートは一般論。園子温を名指していない。「園による性加害」と読むのは「読み方が間違っている」と“意気軒昂な主張”に変える。次回12月19日(非公開期日)

損害賠償請求事件
原告 園子温
被告 松崎悠希
請求価額 1240万円

日本の映画業



地裁でひっそり/開示請求 @c... · 2022/10/11

園子温の性加害を告白した女優。その一方の立場で“中傷”した被告松崎氏と原告園子温の損害賠償請求事件【第一回期日】11月15日13時10分非公開。

被告主体で情報が発信されている本件訴訟だが、従前の期日は抹消扱いとなっていた。事件番号が誤記されており、正しい番号より。担当民事部16部甲合議2C係 x.com/chisaidehissor...



スレッド



Yuki Matsuzaki 松崎悠希

@Yuki_Mats

【園子温氏の民事訴訟について(その4)】

園氏による民事訴訟(第192265号)の第一回口頭弁論は9月27日(火)13:20から東京地方裁判所526号法廷で執り



地裁でひっそり/開示請求 
@chisaidehissori

界の悪習や社会正義に照らして園を糾弾するべきという
のりで始まったと思われた争い。被告は米国拠点の俳優。
原告は天才的な映画を作る作家として称賛される園子温。

発端は、訴外EのTwitter。令和4年3月27日、“自己の体験”に基づき、園による“性加害”を発信。原告が流れでそれをキャッチ。園のワーク

18:04 · 2022/12/13

 1  4  10  1 



地裁でひっそり/開示請求  @chisa... · 2022/12/13 ...

ショップで、「園が女の身体を要求するのは常套手段。被害者はたくさん等」の思惑のツイートを行った。しかし、原告は、本件ツイートの読み方について、令和4年11月15日に提出した答弁書で反論。園の本件訴因は、趣旨を歪曲した読み方であるとして、請求の棄却を求めた。

ワークショップは、「園子温の

 1  5  10   



地裁でひっそり/開示請求  @chisa... · 2022/12/13 ...

ワークショップには限定していない。そこで行われたとも書いていない」あくまでも一般論。園による加害の暴露も行っていない。園であるとの摘示も答弁書で否定した。「園子温が性加害をしていると言っていない」という主張を始めた被告。被告はツイッターでの糾弾とも読める高姿勢はやめたようである。

     

以下が、松崎が裁判で言った証言です。

↓

より分かりやすくするために、しいて、最小限度で語句等を補えば、こうである。このツイートを讀んだあなたは、ツイートに書かれているのは自分のことだと思うのではないか。あなたや「ワークショップ」に参加した「俺の知り合い」に行われたものと同様の働き掛けは、「園子音(?)とその取り巻き」の使う「常套手段」であるから、同様の働き掛けを受けた「被害者は何十人もいる。」、と。

上述のとおり、本件ツイートの矛先は、原告その人ではなく、[2] と [3] の働き掛けを「常套手段」とした、「園子音(?)とその取り巻き」による「ワークショップ」の運営と利用のあり方に向けられているのである。

なお、ここでいう、「被害」も、「身体を要求された」こと自体をいう。それが、「要求」とどまっただけにしろ、権限や権威、立場の強さを背景としたものである以上、その「要求」は、自己の性的尊厳に対する脅威として、受講生に心理的な負荷を掛けるものとなる。それが、「被害」なのである。

(2) 「(2)」について

ア 原告の主張とその誤り

原告は、「当該摘示事実は、一般の閲覧者に対し、原告は、自らが開催したワークショップにおいて、自らのワークショップにおける指導者さらには映画監督という優越的地位を利用して、映画等に出演したいと希望する受講生の想いに付けこんで、当該受講生に対し自身と性交渉をするよう要求した卑劣な人間であるという印象を与えるものであり、また原告はこれだけでなく同様の性被害を何十人も多数人に与えているという印象を与えるものであるから、原告の社会的地位を著しく低下させるものである。」という。

失当である。

本件ツイートは、原告について、「原告(が)自らが開催したワークショップにおいて、自らのワークショップにおける指導者さらには映画監督という優越的地位を利用して、映画等に出演したいと希望する受講生の想いに付けこんで、当該受講生に対し自身と性交渉をするよう要求した卑劣な人間である…また原告はこれだけでなく同様の性被害を何十人も多数人に与えている」(下線は引用者が付した。)との「印象」を与えるようなものではない。

なぜなら、本件ツイートは、原告が、自ら、「ワークショップ」の現場で、原告所論の挙動に出たと説くものではないからである。事実、本件ツイートは、原告が、「自らのワークショップにおける指導者さらには映画監督という優越的地位を利用し(た)」

とか、「映画等に出演したいと希望する受講生の想いに付けこん(だ)」とか、「受講生に対し自身と性交渉をするよう要求した」とか、「同様の性被害を何十人もの多数人に与え(た)」とかの文言を何ら含んでいない。因みに、被告は、原告が「俺の知り合い」に、身体的な「性被害」を与えたと考えるものではない。本件ツイートの「被害」とは、言語としての「身体的要求」が、自己の性的尊厳に対する脅威となつて、「要求」を受けた者に、心理的な負荷を掛けることをいうのである(前述。)

本件ツイートの説くところを、再度、まとめる。

すなわち、「園子音(?)とその取り巻きの『ワークショップ』」に通い始めた「俺の知り合い」は、「園子音(?)とその取り巻き」から「『事務所』(マネージャー)を信用する」と教えられ、「事務所(マネージャー)」を「信用」しなくなって「一人」になったところで、「身体を要求された」。/このツイートを読んだあなたは、ツイートに書かれているのは自分のことだと思うのではないか。あなたや「ワークショップ」に参加した「俺の知り合い」に行われたものと同様の働き掛けは、「園子音(?)とその取り巻き」の使う「常套手段」であるから、同様の働き掛けを受けた「被害者は何十人もいる。」、と。

このように、本件ツイートが焦点を当てているのは、原告その人の個人としての行状ではなく、あくまで、「ワークショップ」の受講を契機に「園子音(?)とその取り巻き」との関わりが生じた者の性的な尊厳を護る見地からの、「園子音(?)とその取り巻き」による「ワークショップ」の運営と利用のあり方である。

「園子音(?)とその取り巻き」による「ワークショップ」の運営と利用のあり方に、日本の「ワークショップ」が抱える問題が凝縮されている。この「ワークショップ」の問題と、日本の映画等の業界の悪弊の一つ、すなわち、監督や制作者の俳優(主として女性)に対する性加害行為等の非人道的、反倫理的な仕打ちとは、同根のものというべきである。本件ツイートが、「園子音(?)とその取り巻き」による「ワークショップ」の運営と利用のあり方を取りあげた本質的な理由はここにある。遺憾ながら、「園子音(?)とその取り巻き」の同類が他にもいる。それゆえに、被告は、本件ツイートを行ったのである。

本件ツイートにおける原告は、「ワークショップ」を運営及び利用する、「園子音(?)とその取り巻き」の中の存在である。本件ツイートは、原告がその中で具体的に何をしたかを取りあげるものではない。